

取扱説明書 P.4、P.5 にあやまりがありました。
お詫びとともに訂正いたします。

P.4

溶接機の作業に係る事項

警告



禁止

- ・身体が調子が悪い時、判断力に影響するような酒類、薬物を服用して使用しないでください。
- ・狭い場所での溶接作業は行わないでください。ガス中毒や酸欠により窒息する危険があります。
- ・有害なガスや引火性の物質の側では溶接作業をしないでください。
- ・内部にガスの入ったガス管や、密閉されたタンクやパイプを溶接しないでください。
- ・溶接直後の熱い母材（溶接物）を、可燃物に近づけないでください。火災の原因となります。
- ・帯電部には絶対に触れないでください。感電ややけどを負う恐れがあります。
- ・本機では、直流100V/200Vの出力電圧が発生するため、溶接ホルダ先端やアースクリップに触れると感電ややけどの恐れがあります。
- ・本機内部に堆積した粉じんを放置しないでください。絶縁劣化を起し、感電や火災の原因になります。

↓
を使用中に

P.5

溶接機の作業に係る事項

注意



禁止

- ・電源コードや電源プラグが破損していたり、コンセントの挿込みが緩い時は使用しないでください。感電、ショート、発火の原因になります。
- ・電源コード、溶接ホルダコード、アースコードを傷つけたり、破損させたり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、束ねたりしないでください。感電、発火の原因になります。
- ・交流100V(200V)以外では使用しないでください。
交流電源やエンジン発電機などを使用すると、能力の低下を起こす恐れがあります。
発電機を使用する場合は、100Vの場合5kVA以上、200Vの場合12kVA以上の能力のものをご使用ください。

↓
削除

↓
削除